



## 2020年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年10月2日

上場会社名 株式会社 タカキュー

上場取引所 東

コード番号 8166 URL <https://online.taka-q.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大森 尚昭

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 林 宏夫

TEL 03-5248-4100

四半期報告書提出予定日 2019年10月2日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年2月期第2四半期の業績(2019年3月1日～2019年8月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第2四半期	10,940	7.2	279		163		351	
2019年2月期第2四半期	11,790	4.9	674		568		497	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第2四半期	14.41	
2019年2月期第2四半期	20.41	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期第2四半期	11,126	5,028	45.2	206.39
2019年2月期	11,951	5,441	45.5	223.34

(参考)自己資本 2020年2月期第2四半期 5,028百万円 2019年2月期 5,441百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期		0.00		0.00	0.00
2020年2月期		0.00			
2020年2月期(予想)				2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年2月期の業績予想(2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	4.0	100		300		100		4.10

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期2Q	24,470,822 株	2019年2月期	24,470,822 株
期末自己株式数	2020年2月期2Q	105,094 株	2019年2月期	105,001 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年2月期2Q	24,365,757 株	2019年2月期2Q	24,366,223 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
3. 補足情報 .....	8
商品別売上高 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善が続き、緩やかな回復基調が続いておりますが、米中の貿易摩擦やユーロ圏及び中国の景気減速等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当アパレル・ファッション業界におきましては、Eコマース分野は順調に推移しているものの、個人消費は節約志向が依然として強く、経営環境は厳しい状況で推移しました。

このような経営環境のなか当社は、在庫の適正化・売り場鮮度の向上等による商品粗利率の改善、不採算店舗の退店等による固定費の低減など、引続き強靱な財務基盤と安定的かつ継続的な収益構造の改革に取り組みました。

営業面では、引続き商品知識習得及び接客技術向上を動画教育プログラムで実施しました。加えて店舗毎に顧客特性を再定義し、それに応じたブランド・商品展開を明確に打ち出す売場構成の見直しに着手しました。また、免税取扱店舗を拡大してインバウンド需要の取り込み体制を強化したほか、アウトレット店舗を増やして過年度商品の販売促進にも注力しました。さらに、「お客様の声」を営業政策、商品企画等に反映するため店舗からの情報をタイムリーに企画・施策に反映する体制を構築しました。

Eコマースの売上拡大に向けては、限定商品等の魅力ある品揃えを展開し、自社サイトでは動画を活用した商品の特徴・機能説明の一段の充実により、リアルに近い購買環境を整えて売上の増強を図りました。また購入履歴の閲覧や一人ひとりに応じた情報提供などのアプリ機能強化により、利便性向上と効果的な販促を通じてアプリ会員の新規獲得に注力いたしました。

商品面では、通勤スタイルのカジュアル化に対応した、オンでもオフでも使えるビジ・カジスタイルをメンズ・レディース共にトータルで提案する、「THE 3rd WARDROBE～はたらくヒトを応援する服」の品揃えを充実させ、夏物衣料を早期に立ち上げた結果、清涼、ストレッチなど機能性の向上に注力した軽量ジャケットなど関連商品は堅調に推移しました。さらに、ディストリビューターを配置し、売り場鮮度の向上を図りました。しかしながら、7月は記録的な日照不足や気温の低い日が続いたことから、特に夏物、盛夏衣料が低調に推移しました。8月は夏らしい気温となり、停滞していた夏物カジュアル衣料が順調に売上を伸ばしましたが、スーツなどビジネス衣料の苦戦を補うには至らず、当第2四半期累計期間の既存店売上高前年同期比は8.0%減となりました。

店舗面では、主力業態のタカキューを1店舗出店し、一方低効率等によりタカキューを11店舗、グランバックを3店舗、タカキューアウトレットストアを2店舗、メール・アンド・コーを1店舗、セマンティック・デザインを1店舗、エム・エフ・エディトリアルを1店舗、シャツ・コードを1店舗、計20店舗退店した結果、当第2四半期会計期間末では前年同期比27店舗減の283店舗となりました。

その他、本部ではロボットによる業務自動化ツール（RPA）、物流センターでは電子タグ（RFID）及び関連システムを導入し業務の効率化を図りました。

以上により、当第2四半期累計期間の売上高は109億4千万円（前年同期比7.2%減）、営業損益は2億7千9百万円の損失（前年同期は営業損失6億7千4百万円）、経常損益は1億6千3百万円の損失（同経常損失5億6千8百万円）、四半期純損益は3億5千1百万円の損失（同四半期純損失4億9千7百万円）となりました。

なお、当社は衣料品販売の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

資産の部は、前事業年度末に対して8億2千4百万円減少し、111億2千6百万円となりました。主な要因は、固定資産で無形固定資産が1億2千5百万円増加し、流動資産で現金及び預金が1億5千万円、売掛金が2億3千4百万円、商品が2億2千9百万円、固定資産で有形固定資産が7千1百万円、投資その他の資産の関係会社株式が8千9百万円、敷金が8千2百万円、繰延税金資産が8千8百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債の部は、前事業年度末に対して4億1千1百万円減少し、60億9千7百万円となりました。主な要因は、流動負債で支払手形及び買掛金が2千4百万円、短期借入金が7億円それぞれ増加し、流動負債で電子記録債務が10億7千3百万円、賞与引当金が9千万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産の部は、前事業年度末に対して4億1千2百万円減少し、50億2千8百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が3億5千1百万円、その他有価証券評価差額金が6千1百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、前事業年度末に対して1億5千万円減少し、6億1千9百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、5億9千3百万円の支出（前年同期比1億9千9百万円の支出減少）となりました。これは税引前四半期純損失1億7千5百万円、仕入債務の減少10億4千8百万円等による資金減と、非資金的費用である減価償却費2億8百万円、売上債権の減少2億3千4百万円およびたな卸資産の減少1億8千3百万円等の資金増によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、2億5千6百万円の支出（前年同期4億3千8百万円の収入）となりました。これは有形固定資産の取得による支出が8千4百万円および無形固定資産の取得による支出1億8千4百万円、資産除去債務の履行による支出5千8百万円等がありましたが、敷金および保証金の回収による収入8千6百万円等があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入れによる収入7億円等により6億9千9百万円の収入となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期通期の業績予想につきましては、2019年4月9日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成31年2月28日)	当第2四半期会計期間 (令和元年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	769,785	619,291
売掛金	1,386,119	1,151,629
商品	3,546,714	3,317,481
貯蔵品	60,129	105,700
その他	328,374	277,062
流動資産合計	6,091,123	5,471,165
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	787,295	720,000
機械及び装置（純額）	—	6,371
器具及び備品（純額）	236,674	221,879
その他（純額）	0	3,918
有形固定資産合計	1,023,970	952,169
無形固定資産	216,587	342,424
投資その他の資産		
関係会社株式	437,253	347,947
賃貸不動産（純額）	75,573	74,546
差入保証金	155,961	155,961
敷金	3,555,246	3,472,514
繰延税金資産	351,887	263,051
その他	43,661	46,650
投資その他の資産合計	4,619,583	4,360,672
固定資産合計	5,860,140	5,655,266
資産合計	11,951,264	11,126,431

（単位：千円）

	前事業年度 (平成31年2月28日)	当第2四半期会計期間 (令和元年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	896,516	921,461
電子記録債務	2,390,192	1,316,305
短期借入金	—	700,000
未払法人税等	118,891	103,817
賞与引当金	213,733	123,045
店舗閉鎖損失引当金	15,551	14,988
その他	1,217,200	1,281,709
流動負債合計	4,852,086	4,461,327
固定負債		
資産除去債務	1,547,142	1,526,232
その他	110,174	110,004
固定負債合計	1,657,317	1,636,236
負債合計	6,509,403	6,097,564
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	568,485	568,485
利益剰余金	2,707,720	2,356,703
自己株式	△26,415	△26,432
株主資本合計	5,249,789	4,898,756
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	192,071	130,111
評価・換算差額等合計	192,071	130,111
純資産合計	5,441,861	5,028,867
負債純資産合計	11,951,264	11,126,431

（2）四半期損益計算書  
（第2四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自 平成30年3月1日 至 平成30年8月31日）	当第2四半期累計期間 （自 平成31年3月1日 至 令和元年8月31日）
売上高	11,790,170	10,940,931
売上原価	4,855,900	4,141,162
売上総利益	6,934,269	6,799,768
販売費及び一般管理費	7,608,904	7,079,717
営業損失（△）	△674,634	△279,948
営業外収益		
不動産賃貸料	155,806	154,201
手数料収入	50,094	49,684
その他	21,442	21,170
営業外収益合計	227,343	225,056
営業外費用		
不動産賃貸費用	102,904	97,254
その他	17,848	10,929
営業外費用合計	120,753	108,183
経常損失（△）	△568,044	△163,076
特別損失		
減損損失	62,156	12,217
特別損失合計	62,156	12,217
税引前四半期純損失（△）	△630,201	△175,293
法人税、住民税及び事業税	60,813	59,542
法人税等調整額	△193,747	116,181
法人税等合計	△132,934	175,723
四半期純損失（△）	△497,266	△351,017

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自平成30年3月1日 至平成30年8月31日）	当第2四半期累計期間 （自平成31年3月1日 至令和元年8月31日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失（△）	△630,201	△175,293
減価償却費	227,082	208,516
減損損失	62,156	12,217
賞与引当金の増減額（△は減少）	10,369	△90,688
店舗閉鎖損失引当金の増減額（△は減少）	△1,314	△562
有形固定資産除却損	926	1,077
受取利息及び受取配当金	△3,803	△3,024
売上債権の増減額（△は増加）	282,076	234,490
たな卸資産の増減額（△は増加）	142,079	183,661
仕入債務の増減額（△は減少）	△704,433	△1,048,942
未払消費税等の増減額（△は減少）	△52,046	49,348
その他	△5,484	95,657
小計	△672,591	△533,543
法人税等の支払額	△120,739	△60,268
営業活動によるキャッシュ・フロー	△793,331	△593,811
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△140,731	△84,516
無形固定資産の取得による支出	△33,672	△184,539
定期預金の預入による支出	△600,000	—
定期預金の払戻による収入	1,200,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	△18,251	△3,813
敷金及び保証金の回収による収入	38,205	86,544
資産除去債務の履行による支出	△4,601	△58,722
その他の資産取得による支出	△6,600	△13,826
長期預り保証金の返還による支出	—	△10,170
長期預り保証金の受入による収入	—	10,000
利息及び配当金の受取額	3,826	3,024
投資活動によるキャッシュ・フロー	438,174	△256,020
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	700,000
自己株式の増減額（△は増加）	△73	△16
配当金の支払額	△72,676	△587
その他	—	△58
財務活動によるキャッシュ・フロー	△72,750	699,338
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△427,907	△150,493
現金及び現金同等物の期首残高	626,593	769,785
現金及び現金同等物の四半期末残高	198,686	619,291

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

3. 補足情報

商品別売上高

	前第2四半期累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年8月31日)		当第2四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)		前事業年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
重衣料	4,793,992	40.7	4,457,656	40.7	10,356,039	41.4
中衣料	404,206	3.4	366,384	3.4	1,827,677	7.3
軽衣料	6,110,563	51.8	5,671,206	51.8	11,809,949	47.3
その他衣料等	481,407	4.1	445,683	4.1	1,003,589	4.0
合計	11,790,170	100.0	10,940,931	100.0	24,997,254	100.0

- （注） 1. その他衣料等はスカート、ワンピースのほか、クレジットカード会員獲得に伴う手数料収入、衣料品の修理・加工に伴う収入等であります。
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。